



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,773	4.7	1		37		51	
2023年3月期	6,058	5.7	84	65.4	89	63.9	41	81.9

(注) 包括利益 2024年3月期 17百万円 (%) 2023年3月期 64百万円 (73.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	20.41		6.4	1.1	0.0
2023年3月期	16.45	16.03	5.2	2.7	1.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,373	801	22.9	308.09
2023年3月期	3,291	844	24.7	324.87

(参考) 自己資本 2024年3月期 772百万円 2023年3月期 814百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	39	121	83	671
2023年3月期	210	120	162	655

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		10.00	10.00	25	60.8	3.0
2024年3月期		0.00		5.00	5.00	12	24.5	1.6
2025年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00		22.8	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	12.6	50		90		55		21.94

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	2,605,642 株	2023年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2024年3月期	99,200 株	2023年3月期	99,200 株
期中平均株式数	2024年3月期	2,506,442 株	2023年3月期	2,506,442 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,790	2.4	34		36		46	
2023年3月期	4,910	6.6	81	57.2	120	46.4	74	63.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	18.49	
2023年3月期	29.56	28.80

2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,037	681	21.5	260.28
2023年3月期	3,032	753	23.9	288.77

(参考) 自己資本 2024年3月期 652百万円 2023年3月期 723百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17
売上高前年対比等	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、価格転嫁の進展、旺盛な訪日外国人消費、好調な輸出などを背景として、大企業を中心に賃上げの機運が高まり、賃金と物価の連鎖的な上昇によるインフレが緩やかに進行しつつあります。しかしながら、物価高により停滞する個人消費や、中小企業を中心に深刻化する人手不足が経済成長にブレーキをかけかねない状況にもあります。海外においては、中東などの地政学的な緊張、不動産不況による中国経済の停滞、米国の早期利下げ観測後退など、依然として先行きに対する不透明感が残っております。

リユース市場においては、アウトドア（レジャー、スポーツ）など一部のカテゴリにおいてコロナ禍による特需の反動が見られたものの、物価上昇に対する生活防衛消費、ブランド品などへの訪日外国人消費、輸出など、内外の両需要に支えられ、また、サステナビリティ意識の高まりや市場の成長を受けて、企業価値の向上や新たな顧客層の開拓を求めて製造小売業などの参入が相次いでおり、市場規模は拡大の一途をたどっているものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って他のレジャー関連に支出が向けられたことに加えて、新品クラブの価格上昇と需供バランスの悪化により、秋までは盛り上がりには欠けた状況が続きました。12月になると暖冬を背景に新製品の発売で市場に活気が戻り、1月以降はその傾向が続きました。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2024年1月～3月の新品クラブ及びボールなど用品類のカテゴリ合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、1月103.6%・98.9%、2月103.0%・114.5%、3月99.1%・94.0%で、年度合計（2023年4月～2024年3月）の前年比は、100.0%・99.6%となっております。例年にも増して新製品の発売に左右されたように思われます。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2024年1月、2月の利用者数前年同月比（ゴルフ場・練習場）*は、1月103.9%・96.9%、2月95.7%・100.7%となりました。2023年度のゴルフ場は7月、9月、12月、1月が前年実績を上回り、2023年4月～2024年2月の合計はわずかながら前年実績を下回ったようです。練習場は前年実績を上回った月が12月と2月のみで、同合計は2021年度をピークに2年連続で前年実績を下回ったようです。*3月分は公表日の都合で記載しておりません。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、「EC戦略の強化」と「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」に取り組んでまいりました。「EC戦略の強化」では、第一弾として9月に「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」をグランドオープン、第二弾として12月に「メルカリShops」に「ゴルフドゥ!」直営店出店とECにおけるフィールドの拡大を進めました。加えて2月には、オムニチャネル化を見据えた完全新作アプリ「ゴルフドゥ!公式アプリ」のリリースと、ポイントプログラムを一新するとともに「ゴルフドゥ!」全店でポイントを共通化いたしました。「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」では、9月に自社運営のゴルフスクール「ゴルフドゥ!STUDIO レッスン&フィッティング」をスタートし、収益力の向上を図るため、本格的にサービス需要の取り込みを進めております。また、既存の「ゴルフドゥ!」3店舗（宇都宮鶴田店、グローボ蘇我店、川越店）を前期に立ち上げた新業態「ゴルフドゥ!NEXT」に転換し、業績拡大を図っております。なお、「ゴルフドゥ!NEXTグローボ蘇我店」と「ゴルフドゥ!NEXT川越店」は、「ゴルフドゥ!STUDIO レッスン&フィッティング」を併設しております。費用面については、前連結会計年度と比較し大きく上回っているものとして、広告宣伝費、人件費及び貸倒引当金繰入額があげられます。広告宣伝費は「EC戦略の強化」に関するもので、人件費はパートタイマーの時給改定と不足する社員に代わる採用増加によるものです。貸倒引当金繰入額については、2023年8月10日に開示した「貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」とおり、当社への売掛債権及び貸付債権に対して引き続き計上となったものです。

直営事業においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴った市場環境の変化や夏場の猛暑に加えて、新品クラブ需要に対する供給のバランスが崩れたことにより、「ゴルフドゥ!」直営店は5月中旬から11月まで厳しい状況が続きました。しかしながら、12月以降は新製品の発売により新品クラブ販売を起点に下取りの増加、在庫の増加と品揃えの充実、中古クラブ販売の増加という流れが続き、加えて暖冬の好影響もあり、店頭販売は好調に推移いたしました。さらには、自社サイトの「ゴルフドゥ!オンラインショップ」に加えて、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」、「メルカリShops」のEC系3サイト体制が、店舗業績を押し上げております。なお、当連結会計年度の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まず）は、全店ベースで1.6%増、既存店ベースで1.3%増となりました。

フランチャイズ事業においては、ゴルフ人気の落ち着きもあり、「ゴルフドゥ!」フランチャイズ店の新規加盟開拓は1年を通して苦戦を強いられるとともに店舗数の減少もあり、ロイヤリティの減収が進みました。なお、新製品動向、EC系販売、暖冬などによる店舗を取り巻く環境は同直営店と大差なく、12月以降の業績は堅調に推移いたしました。しかしながら、同直営店と比べて在庫量が少ない店舗が多いため、販売先行により販売が増すほどに在庫状況も厳しさが増すというジレンマ的な状況が見え隠れしており、安定した在庫の確保が急務となっております。なお、当連結会計年度の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む）は、全店ベースで5.5%減、既存店ベースで3.4%減となりました。

当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」のオープンは新規が1店舗、移転が1店舗であり、2024年3月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ47店舗（当社子会社の運営店舗を含む）、合計71店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース2.3%減、既存店ベース1.2%減となりました。

営業販売事業においては、米国のインフレや円安による輸入品のコスト高の状況に大きな変化はないものの、新製品の発売などにより卸売りの12月～3月は売上高、営業利益ともに前年同期を上回りましたが、国内E Cモールに出店する「GOLF J-WINGS」は、不安定な在庫状況に大きな改善が見られず、1年を通して苦戦が続きました。米国子会社は、業績の回復を図るべく米国内向け小売りへの注力を一層進めております。

アパレル事業においては、第3四半期連結累計期間までの売上高は前年同期を上回っていたものの、暖冬の影響により防寒衣料の動きが鈍いことに加えて、春物衣料の納品が遅延傾向にあることから、販売におけるプロパ一品（値下げ前または値下げ対象外の品）の比率が低迷したため、当連結会計年度の売上高、営業利益は前年実績を下回りました。しかしながら、黒字は維持いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は売上高57億73百万円（前連結会計年度売上高は60億58百万円）、営業損失1百万円（前連結会計年度営業利益は84百万円）、経常損失37百万円（前連結会計年度経常利益は89百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失51百万円（前連結会計年度親会社株主に帰属する当期純利益は41百万円）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当連結会計年度における直営事業の売上高は43億36百万円（前連結会計年度売上高は42億72百万円）、セグメント利益は2億72百万円（前連結会計年度セグメント利益は2億82百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当連結会計年度におけるフランチャイズ事業の売上高は4億64百万円（前連結会計年度売上高は6億22百万円）、セグメント利益は39百万円（前連結会計年度セグメント利益は1億10百万円）となりました。

（営業販売事業）

当連結会計年度における営業販売事業の売上高は10億49百万円（前連結会計年度売上高は12億25百万円）、セグメント利益は11百万円（前連結会計年度セグメント損失は10百万円）となりました。

（アパレル事業）

当連結会計年度におけるアパレル事業の売上高は52百万円（前連結会計年度売上高は52百万円）、セグメント利益は0百万円（前連結会計年度セグメント利益は2百万円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円の増加となり、33億73百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円の増加となり、25億67百万円となりました。これは主に現金及び預金が15百万円、売掛金が43百万円、未収還付法人税等が15百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円の増加となり、8億5百万円となりました。これは主に有形固定資産が11百万円、無形固定資産が34百万円、貸倒引当金が33百万円増加したことによるものです。

（負債）

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億24百万円の増加となり、25億71百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ89百万円の増加となり、16億69百万円となりました。これは主に買掛金が20百万円、短期借入金が70百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ34百万円の増加となり、9億2百万円となりました。これは主に長期借入金が43百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円の減少となり、8億1百万円となりました。これは主に利益剰余金が76百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は22.9%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入、投資活動による支出及び財務活動による収入の結果、6億71百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費、貸倒引当金の増加、法人税等の支払等により、39百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出等により、1億21百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増減額、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出等により、83百万円の収入となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本比率（%）	14.2	16.2	22.7	24.7	22.9
時価ベースの 自己資本比率（%）	25.3	34.6	28.3	29.9	27.5
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率（年） *	115.0	2.6	—	6.6	37.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍） *	0.9	35.8	—	17.0	3.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

* 2022年3月期は、有利子負債はありますがキャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、経済活動に一段と加速が見込まれるものの、マイナス金利政策などの金融緩和策の終了、物価高、人手不足が経済を停滞させる可能性も予想されます。

リユース市場においては、リユースへのニーズが底堅いことに加えて、サステナビリティへの取り組みが求められるにつれ、循環経済の一環として参入する企業の増加が続き、市場規模は拡大が続くものと思われま

す。ゴルフ用品市場においては、市場内競争に加えて他レジャー市場との競争が続くものの、コロナ禍レベルではないにしろゴルフ人気は安定して推移し、市場規模に大きな変化は起こらないものと思われま

す。当社においては、引き続き「EC戦略の強化」と「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」に取り組んでまいります。「EC戦略の強化」では、新機能の開発に長い時間を費やしてまいりました「ゴルフドゥ!オンラインショップ」のリニューアルオープンが視界に入ってきており、さらにはリニューアル後も様々な機能を追加してまいります。加えてリアル店舗とECサイトの融合であるオムニチャネル化については、その第一歩として2024年2月に「ゴルフドゥ!公式アプリ」のリリースとポイントプログラムの一新を実施しましたが、引き続き着実に開発を進め、年度内の完成を目指してまいります。「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」では、自社運営のゴルフスクール「ゴルフドゥ!STUDIO レッスン&フィッティング」に注力し、サービス面における収益化の完成形として物販とサービスを強固につなげた新たなスタイルの構築を進めてまいります。なお、「ゴルフドゥ!」直営店（「ゴルフドゥ!NEXT」を含む。）の出店については、新規オープンを1店舗予定しております。また、今まで以上に人材育成に力を入れ、接客における感動の提供が決して珍しいものではなくすることを目指してまいります。

以上の結果、翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高6,500百万円（前期比12.6%増）、営業利益50百万円（前期 営業損失1百万円）、経常利益90百万円（同 経常損失37百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益55百万円（同 親会社株主に帰属する当期純損失51百万円）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,352	671,090
売掛金	261,413	305,048
商品	1,524,041	1,519,392
短期貸付金	5,948	3,600
未収還付法人税等	374	16,031
その他	55,179	56,419
貸倒引当金	△497	△3,914
流動資産合計	2,501,812	2,567,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	537,564	574,137
減価償却累計額及び減損損失累計額	△309,316	△324,399
建物及び構築物 (純額)	228,247	249,737
工具、器具及び備品	366,934	378,090
減価償却累計額及び減損損失累計額	△333,162	△336,076
工具、器具及び備品 (純額)	33,771	42,014
建設仮勘定	5,746	—
その他	23,252	11,127
有形固定資産合計	291,018	302,878
無形固定資産		
ソフトウェア	61,165	117,612
ソフトウェア仮勘定	101,972	87,494
のれん	15,728	8,762
その他	2,590	2,408
無形固定資産合計	181,457	216,277
投資その他の資産		
投資有価証券	19,872	40,704
長期貸付金	33,441	34,283
敷金及び保証金	175,269	172,350
繰延税金資産	55,717	46,594
その他	34,969	28,956
貸倒引当金	△2,595	△36,451
投資その他の資産合計	316,673	286,437
固定資産合計	789,149	805,594
繰延資産		
社債発行費	240	—
繰延資産合計	240	—
資産合計	3,291,202	3,373,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	417,652	438,493
短期借入金	600,000	670,000
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	196,659	211,188
未払法人税等	69,799	1,138
賞与引当金	29,892	20,614
ポイント引当金	35,597	34,150
株主優待引当金	13,460	15,356
その他	196,384	278,484
流動負債合計	1,579,446	1,669,426
固定負債		
長期借入金	562,654	606,472
退職給付に係る負債	163,137	166,905
資産除去債務	87,175	86,986
その他	54,534	41,800
固定負債合計	867,501	902,164
負債合計	2,446,947	2,571,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	152,879	76,659
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	739,750	663,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,619	18,476
為替換算調整勘定	69,907	90,201
その他の包括利益累計額合計	74,526	108,678
新株予約権	29,977	29,461
純資産合計	844,254	801,670
負債純資産合計	3,291,202	3,373,261

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,058,108	5,773,318
売上原価	3,815,814	3,604,024
売上総利益	2,242,293	2,169,294
販売費及び一般管理費	2,157,613	2,170,578
営業利益又は営業損失(△)	84,680	△1,283
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,328	2,032
受取手数料	5,888	5,910
為替差益	1,463	—
助成金収入	4,814	1,506
その他	3,725	4,208
営業外収益合計	18,219	13,657
営業外費用		
支払利息	12,358	10,929
貸倒引当金繰入額	—	37,455
為替差損	—	196
その他	881	1,335
営業外費用合計	13,239	49,916
経常利益又は経常損失(△)	89,660	△37,543
特別損失		
固定資産除却損	1,838	1,518
特別損失合計	1,838	1,518
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	87,822	△39,061
法人税、住民税及び事業税	61,686	9,524
法人税等調整額	△15,103	2,568
法人税等合計	46,582	12,093
当期純利益又は当期純損失(△)	41,239	△51,155
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	41,239	△51,155

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	41,239	△51,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,361	13,856
為替換算調整勘定	16,950	20,294
その他の包括利益合計	23,311	34,151
包括利益	64,551	△17,003
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	64,551	△17,003
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	515,838	169,240	124,171	△98,208	711,042
当期変動額					
剰余金の配当			△12,532		△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益			41,239		41,239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	28,707	—	28,707
当期末残高	515,838	169,240	152,879	△98,208	739,750

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△1,741	52,957	51,215	27,511	789,769
当期変動額					
剰余金の配当					△12,532
親会社株主に帰属する当期純利益					41,239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,361	16,950	23,311	2,466	25,777
当期変動額合計	6,361	16,950	23,311	2,466	54,484
当期末残高	4,619	69,907	74,526	29,977	844,254

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	515,838	169,240	152,879	△98,208	739,750
当期変動額					
剰余金の配当			△25,064		△25,064
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△51,155		△51,155
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△76,219	—	△76,219
当期末残高	515,838	169,240	76,659	△98,208	663,530

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,619	69,907	74,526	29,977	844,254
当期変動額					
剰余金の配当					△25,064
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△51,155
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	13,856	20,294	34,151	△515	33,635
当期変動額合計	13,856	20,294	34,151	△515	△42,583
当期末残高	18,476	90,201	108,678	29,461	801,670

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	87,822	△39,061
減価償却費	144,533	115,760
のれん償却額	6,966	6,966
長期前払費用償却額	1,451	1,451
株式報酬費用	2,466	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△862	37,272
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,162	△9,661
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,283	△1,446
株主優待引当金の増減額(△は減少)	2,603	1,895
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,225	3,768
受取利息及び受取配当金	△2,328	△2,032
支払利息	12,358	10,929
固定資産除却損	1,838	1,518
売上債権の増減額(△は増加)	176,900	△33,854
棚卸資産の増減額(△は増加)	△161,786	16,631
仕入債務の増減額(△は減少)	△116,156	5,425
未払金の増減額(△は減少)	337	19,865
未払費用の増減額(△は減少)	△253	8,690
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,235	748
その他	12,993	△2,784
小計	198,464	142,082
利息及び配当金の受取額	2,328	2,032
利息の支払額	△12,394	△10,744
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	21,755	△93,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,154	39,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,255	△36,132
無形固定資産の取得による支出	△70,899	△88,508
貸付金の回収による収入	27,929	1,506
敷金及び保証金の回収による収入	4,918	159
敷金及び保証金の差入による支出	△175	△4,473
建設協力金の回収による収入	12,315	6,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,166	△121,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,620	70,000
長期借入れによる収入	300,000	460,000
長期借入金の返済による支出	△228,982	△401,653
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△12,443	△24,699
その他	0	△515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,045	83,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,793	13,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,264	15,737
現金及び現金同等物の期首残高	724,617	655,352
現金及び現金同等物の期末残高	655,352	671,090

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営事業」、「フランチャイズ事業」、「営業販売事業」及び「アパレル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「直営事業」は、ゴルフクラブの小売り及び買取りを中心とするゴルフリユースショップ「ゴルフドゥ！」の直営店舗運営並びにECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」及び「ゴルフウェアユーズド」並びにECモールに出店する「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops ゴルフドゥ！」の運営、「フランチャイズ事業」は、「ゴルフドゥ！」のフランチャイズチェーン本部の運営及び新規フランチャイズ加盟店の開拓、「営業販売事業」は、ゴルフ用品の卸売り及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」の運営、「アパレル事業」は、アパレルの小売りチェーン「シューラルー」のフランチャイズ店舗運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,272,718	609,997	1,123,087	52,305	6,058,108	—	6,058,108
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	12,063	102,589	—	114,652	△114,652	—
計	4,272,718	622,060	1,225,677	52,305	6,172,761	△114,652	6,058,108
セグメント利益又は 損失 (△)	282,237	110,753	△10,132	2,379	385,238	△300,557	84,680
セグメント資産	1,768,302	207,099	425,639	16,551	2,417,594	873,607	3,291,202
その他の項目							
減価償却費	65,664	61,260	8,325	91	135,341	9,191	144,533
のれんの償却額	6,966	—	—	—	6,966	—	6,966
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	116,123	44,968	27,349	428	188,870	3,635	192,505

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,336,502	450,519	934,250	52,046	5,773,318	—	5,773,318
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	13,678	115,439	—	129,117	△129,117	—
計	4,336,502	464,197	1,049,689	52,046	5,902,435	△129,117	5,773,318
セグメント利益又は 損失 (△)	272,643	39,495	11,590	620	324,350	△325,634	△1,283
セグメント資産	1,918,700	192,164	372,540	17,180	2,500,585	872,676	3,373,261
その他の項目							
減価償却費	60,199	31,748	14,929	148	107,026	8,734	115,760
のれんの償却額	6,966	—	—	—	6,966	—	6,966
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	150,603	29,810	661	—	181,074	5,659	186,734

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分されていない全社費用及び全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	6,966	—	—	—	6,966
当期末残高	15,728	—	—	—	15,728

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計
当期償却額	6,966	—	—	—	6,966
当期末残高	8,762	—	—	—	8,762

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	324.87円	308.09円
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	16.45円	△20.41円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	16.03円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	41,239	△51,155
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	41,239	△51,155
普通株式の期中平均株式数(株)	2,506,442	2,506,442
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	66,743	—
(うち新株予約権(株))	(66,743)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	2021年5月20日開催の取締役会 決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 1,705個 (普通株式 170,500株)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上高前年対比等

当第4四半期及び当連結会計年度における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2024年1月	2024年2月	2024年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
ゴルフドゥ！全店	98.3%	105.7%	108.0%	103.8%	97.7%
ゴルフドゥ！既存店	101.7%	111.9%	105.8%	106.2%	98.8%
同 直営店 全店	103.4%	114.1%	112.4%	109.7%	101.6%
同 直営店 既存店	103.4%	114.1%	113.1%	109.8%	101.3%
同 FC店 全店	93.7%	98.5%	104.3%	98.9%	94.5%
同 FC店 既存店	100.0%	109.7%	99.4%	102.7%	96.6%

当第4四半期及び当連結会計年度におけるEC系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2024年1月	2024年2月	2024年3月	第4四半期合計 (1月～3月)	当期 (4月～3月)
売上高前年対比	136.0%	135.6%	135.4%	135.7%	130.4%
セッション数前年対比	182.1%	182.3%	184.5%	182.9%	156.3%
会員数（合計）					427千人
会員数前年増加率					8.7%

- (注) 1. 2024年3月期第3四半期決算短信より、アクセス数をより具体的な指標名であるセッション数に変更しております。
2. 2024年3月期第3四半期決算短信より、売上高前年対比及びセッション数前年対比（2024年3月期第2四半期決算短信までの指標名はアクセス数前年対比）は、前連結会計年度（2023年3月期）の「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の実績と、当連結会計年度（2024年3月期）のEC系実績（「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops」の合計）との対比に変更しております。
3. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。